

文化・芸術

「ひろしま#7 honor
Takase, F.」

2007年、発色現像方式印刷
154.0cm×100.0cm(作家蔵)

石内 都 (1947年)

「ひろしま」は、2007年以來、現在も撮り続けているシリーズです。広島平和記念資料館に保管される被爆死した人々の遺品から、主に肌身に直接触れた品を選び撮影してきました。

「資料」となったモノを光の上にとっと置き、手持ちのカメラで撮っています。

撮影を始めて1年後の08年、出版された作品集の中で石内都さんは、「決して過去になれない世界最大級の傷跡の品物」と「共有している空気にヒントを合わせ、その場の時間をたぐり寄せながらシャッターを押すだけ」と記しました。これからも長い存在の時間が与えられたモノたちを敬うまなざしを感じられます。

あの朝もこのワンピースを着ていた少女。彼女の日常の風景が浮かび上がってくるようです。
(小此木)

企画展「石内都
STEP THROUGH TIME」から

《名画の扉》

